

## セミナー「地震発生確率 ー理論から実践までー」報告

平成 20 年 4 月 22 日（火）14:00-17:00、建築会館ホールにおいて、セミナー「地震発生確率 ー理論から実践までー」を日本地震工学会の主催により開催しました（主催：日本地震工学会、後援：（社）日本地震学会・（社）地盤工学会・（社）日本建築学会・（社）土木学会・（社）日本機械学会・日本活断層学会）。ゼネコン、コンサルタント、損保関係、大学、研究機関などから、合計 135 名の参加者がありました。

講師には、東京大学地震研究所の島崎邦彦教授、清水建設株式会社の石川裕氏、防災科学技術研究所の藤原広行氏をお招きいたしました。

島崎先生からは、地震発生確率の算出の根拠及び算出方法、地震発生確率の意味と危険性のとらえ方などについて、具体事例を用いて丁寧に解説をしていただきました。石川先生からは、確率論的な地震ハザードについて、表現方法及び算出方法を詳細にご説明いただきますとともに、確率論的地震動予測地図について、震源モデルや地震動モデルなどの作成手法についての解説をいただきました。藤原先生からは、確率論的地震動予測地図について、読み解き方、使い方や、今後の展開などを詳しく解説いただくとともに、地震動予測地図の様々なデータが参照・活用可能な地震ハザードステーションについてご紹介いただきました。

3 時間途中休憩無しの講習会でしたが、出席された方は熱心に聴講されていました。

最後に、貴重な講習を賜りました講師の先生方に心より御礼申し上げます。



建築会館入口の案内版



会場の様子



島崎先生のご講演



藤原先生のご講演

（文責：事業企画委員会 福岡淳也 日本技術開発株式会社）